

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

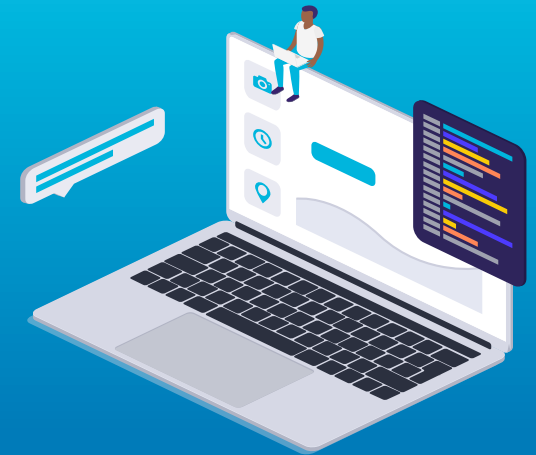
2022年11月14日



目次

1. エクゼクティブサマリ P.3
2. 第2四半期決算概況 P.9
3. 業績見通し P.20
4. 成長戦略 P.25
5. ソフトウェア事業環境 P.28
6. 当社の優位性 P.34
7. 会社概要 P.38

1. エグゼクティブサマリ



2Qの売上高、各段階利益ともに**過去最高、通期も上方修正**

2023年3月期 第2四半期累計

売上高

41.6億円

前年同期比 **+38.7%**

営業利益

4.7億円

+912.2%

親会社株主に帰属する
四半期純利益

3.1億円

+738.0%

単価

729千円

前年同期比 **+63**千円

稼働エンジニア数
(2022年9月末時点)

1,122名

+257名

案件数

1,860件

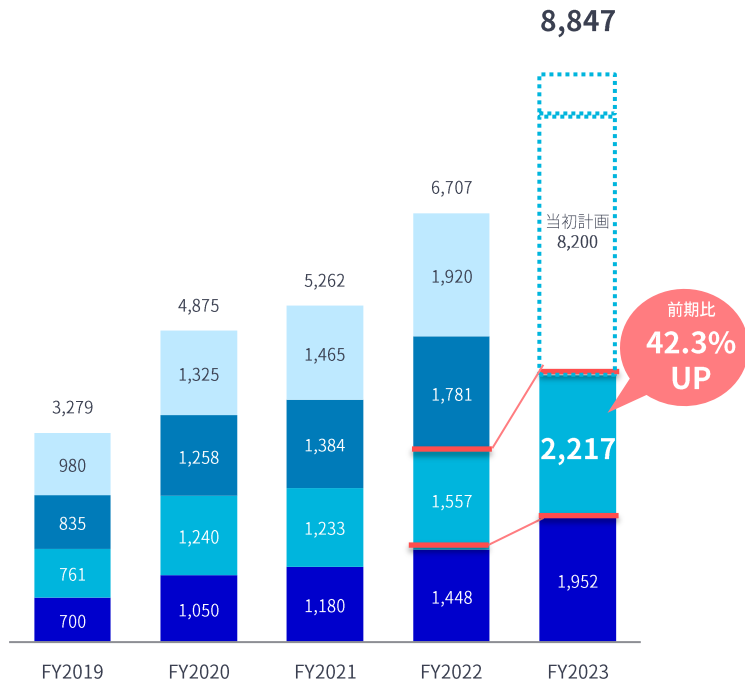
+306件

2Qのトピックス

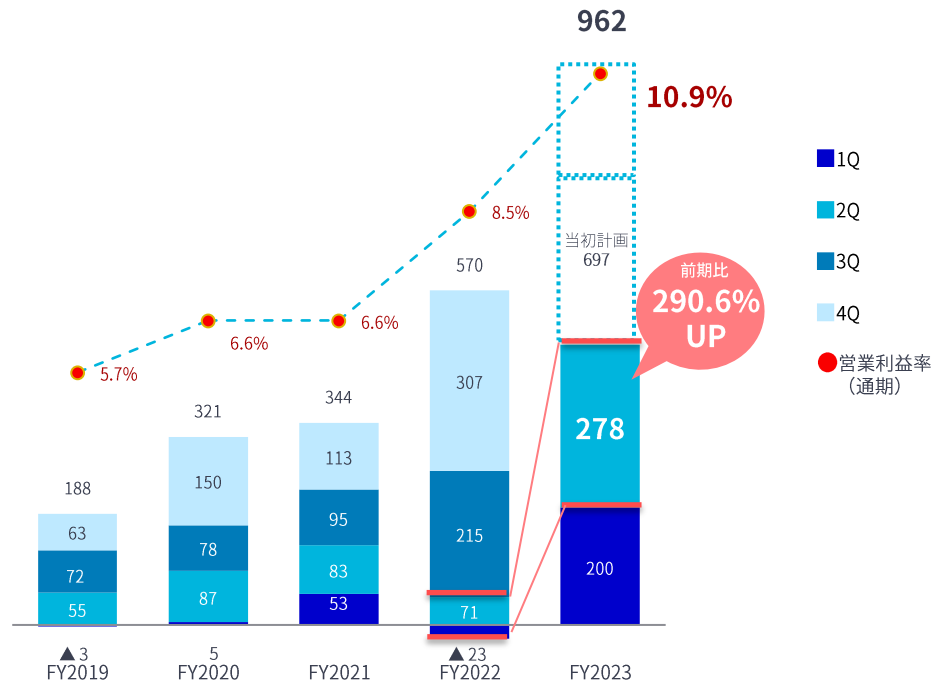
- ・エンジニア数は1,100名を突破
- ・単価は700千円を超え
案件数とともに2Q時点で過去最高
- ・クラウド上でモバイル端末の
実機でテストができるAnyTestの
提供開始
- ・ホワイト企業認定ゴールドランク
取得。働きやすい環境の整備が
認められ前回よりランクアップ

売上高は全四半期を通じて過去最高、営業利益は2Q過去最高

売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



単価、稼働人員数、案件数が**いずれも第2四半期で過去最高**

単価 (KPI) ※1 666千円 ➡ **729**千円

前期比
**63千円
UP**

- ・エンプラ領域の売上割合増加
- ・PMO人材の積極的採用
- ・テスト自動化の積極提案
- ・既存顧客の継続好調



(ソフトウェアテストセグメント)

稼働人員数 732名 ➡ **963**名

前期比
**31.6%
UP**

- ・前年同期比231名増
- ・応募者数の増加
- ・ビジネスパートナーとの関係強化
- ・ジョイン企業との連携が順調

案件数 (KPI) 1,225件 ➡ **1,442** 件

前期比
**17.7%
UP**

- 大型案件
- ・上流工程にPMO※2・QMO※3として参画多数
 - ・マイグレーション※4案件の獲得増
 - ・年1億以上の売上企業数が前期比較で54.5%UP見込

- ・ターゲット業界のアプローチ好調（金融・公共・大型EC等）

FY2023の
業績達成に向け
順調に推進

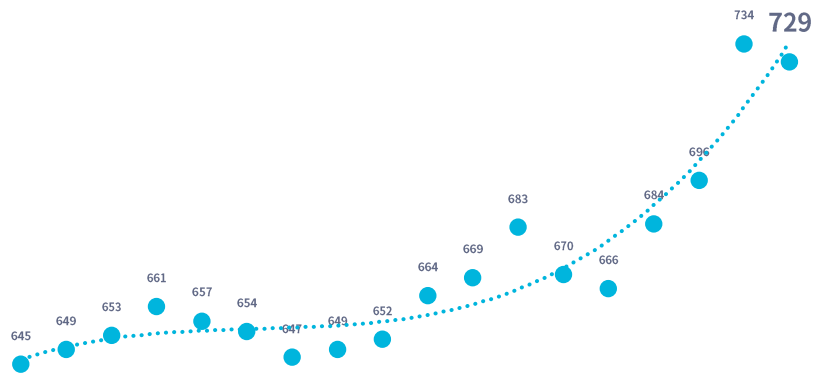
※1 単価（月間）＝ ソフトウェアテストセグメントの売上高 ÷ エンジニア数の延べ人数（正社員+契約社員+ビジネスパートナー）
※2 Project Management Officeの略で、組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム
※3 Quality Management Officeの略で、組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム
※4 ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

単価の推移（ソフトウェアテスト）、稼働エンジニア数の推移（連結）

単価は**700千円**を超え、グループ全体のエンジニア数は**1,100名**を突破！

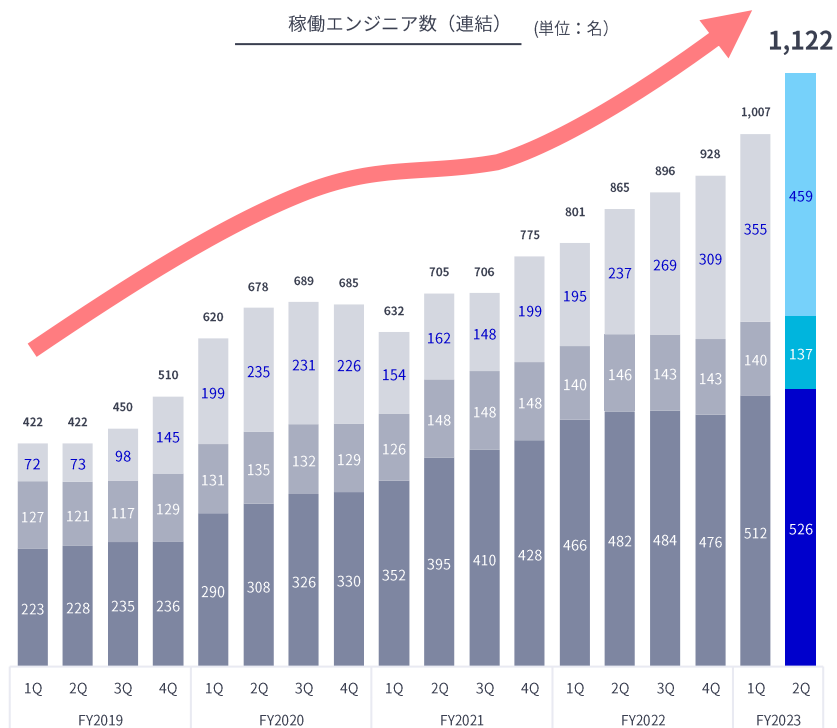
エンジニア1人当たりの売上高（月間）※
（ソフトウェアテスト）

（単位：千円）



稼働エンジニア数（連結）

（単位：名）



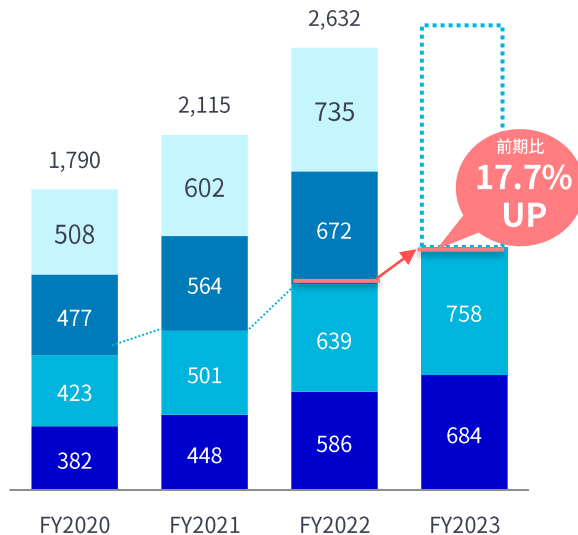
※エンジニア1人当たりの売上高（月間）＝ ソフトウェアテストの売上高 ÷ エンジニア数の延べ人数（正社員+契約社員+ビジネスパートナー）

セグメント別案件数の推移

全セグメントが堅調に増加！

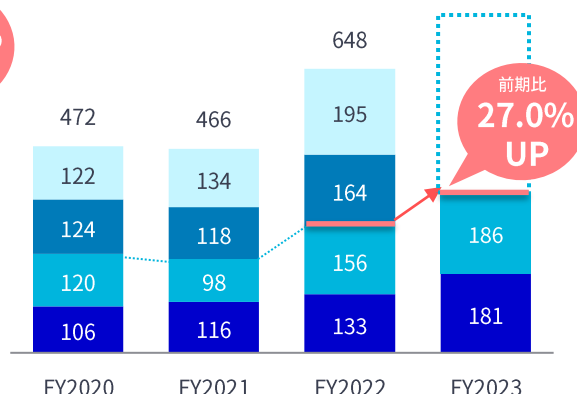
ソフトウェアテスト

(単位：件)



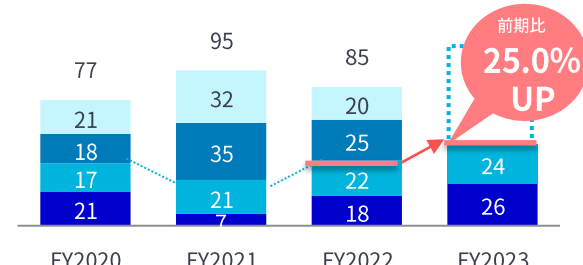
Web/モバイルアプリ開発

(単位：件)



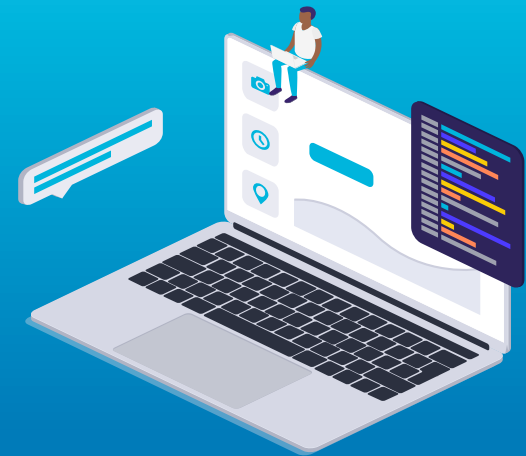
オフショア

(単位：件)



■1Q ■2Q ■3Q ■4Q

2. 第2四半期決算概況

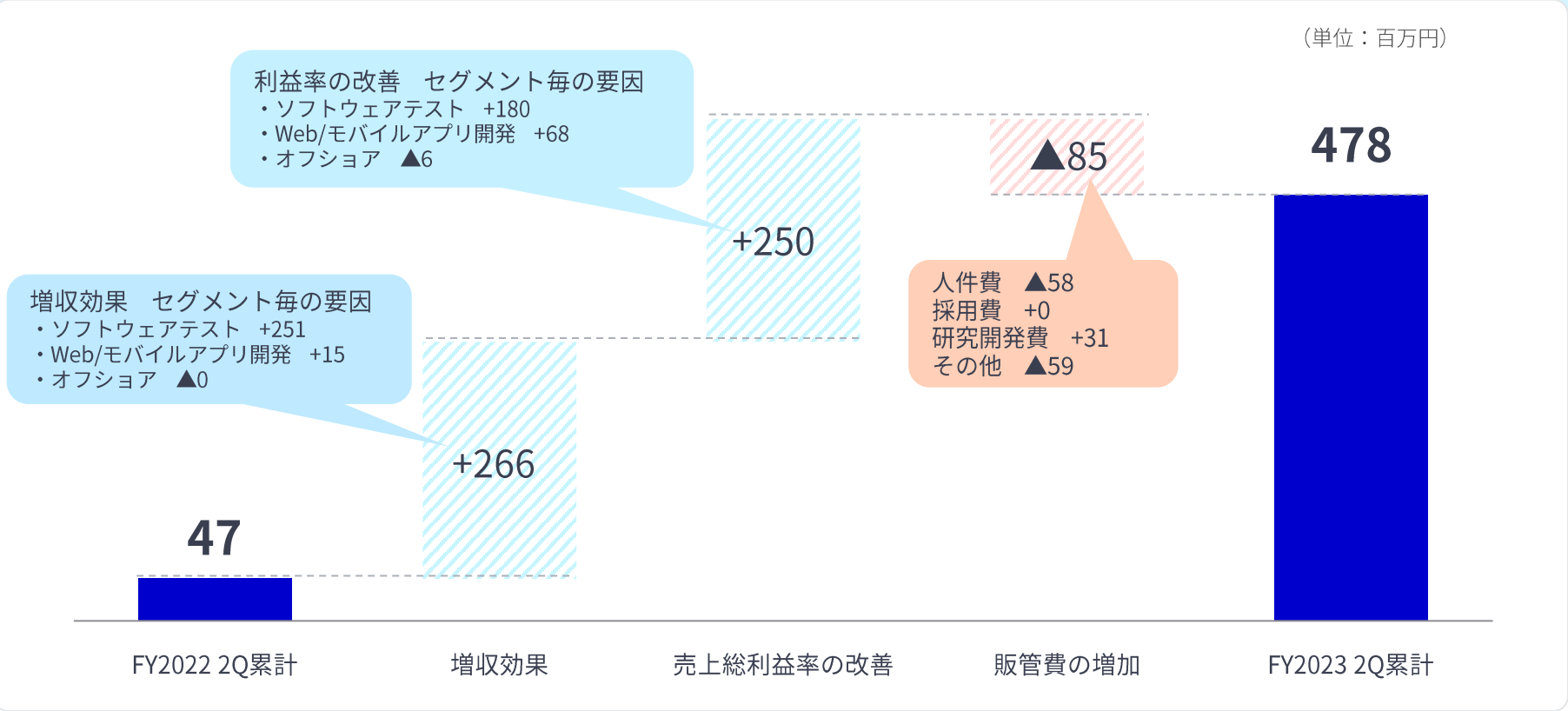


2Q累計時点での**過去最高売上高**を達成

	FY2022 2Q累計			FY2023 2Q累計		
	(百万円)	売上高比 (%)		(百万円)	売上高比 (%)	前年同期比増減 (百万円)
売上高	3,005	100.0	4,169	100.0	+1,163	+38.7
営業利益	47	1.6	478	11.5	+431	+912.2
経常利益	48	1.6	483	11.6	+434	+893.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37	1.2	310	7.5	+273	+738.0
1株当たり 四半期純利益 (円)	5.36		45.83			

増収、売上総利益率改善により増益

(単位：百万円)



連結販管費内訳	FY2022 2Q単	FY2023 2Q単	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	FY2023 2Q累計	
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
販管費	328	379	640	726	+85	+13.3
人件費	135	180	270	328	+58	+21.5
採用費	58	55	103	102	▲0	▲0.5
研究開発費	26	9	50	19	▲31	▲62.4
その他	108	134	216	275	+59	+27.4

人件費 ▲58 →営業およびガバナンス体制強化に伴う人数増加、インフレ特別手当の支給
 採用費 ▲0 →ほぼ前期並み
 研究開発費 ▲31 →前期はT-DASH（ソフトウェアテスト自動化ツール）等の新規サービス開発に対する先行投資があった
 その他 +59 →PR費用の増加、のれん償却費の増加、行動制限緩和に伴う出張旅費の増加、等

連結正社員 入社人数 エンジニア+販管部門	FY2022 2Q単	FY2023 2Q単	FY2022 2Q累計	FY2023 2Q累計	FY2023 2Q累計	
	(名)	(名)	(名)	(名)	前年同期比増減 (名)	前年同期比 (%)
総数 (うちエンジニア)	43 (35)	38 (33)	108 (91)	101 (89)	▲7 (▲2)	▲6.5 (▲2.2)

(単位：百万円)

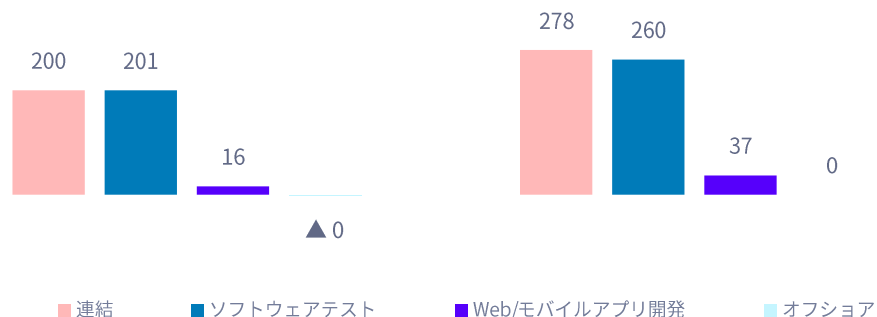
	FY2022 2Q累計		FY2023 2Q累計	
	実績		実績	前年同期比
ソフトウェアテスト	売上高	2,698	3,792	+40.5%
	営業利益	98	462	+368.2%
	利益率	3.7%	12.2%	+8.5pt
Web/モバイルアプリ開発	売上高	363	476	+31.0%
	営業利益	▲24	53	-
	利益率	▲6.6%	11.2%	+17.8pt
オフショア	売上高	43	39	▲10.5%
	営業利益	9	0	▲90.0%
	利益率	21.3%	2.4%	▲18.9pt
セグメント間取引消去及び 全社費用	売上高	▲100	▲138	-
	営業利益	▲36	▲38	-
連結	売上高	3,005	4,169	+38.7%
	営業利益	47	478	+912.2%
	利益率	1.6%	11.5%	+9.9pt

Qごとの営業利益は堅調に推移

(単位：百万円)

営業利益	FY2023 1Q単	FY2023 2Q単	通期予想 (11/14公表)
連結※	200	278	962
ソフトウェアテスト	201	260	
Web/モバイルアプリ開発	16	37	
オフショア	▲0	0	

※連結営業利益は、各セグメントの合計からセグメント間取引消去および全社費用を調整するため、各セグメントの合計値とは異なります。



ソフトウェアテスト

(エンタープライズ案件、WEBサービス/組込み系案件、小売り系案件等)

エンタープライズ案件の拡大により一層の案件大型化・単価上昇を進める

- 大型案件の上流工程からPMO・QMOとしての参画増加、単価上昇へ
- 金融・公共・流通などターゲット業種からの受注拡大
- 既存システムのマイグレーション案件の受注獲得
- 新たにグループインした株式会社ミントとのシナジーにより、金融系案件の業績拡大を目指す
- 当社のテスト・品質向上手法を身に付けた社員による品質の安定
- 人材調達部門の機能強化によるビジネスパートナーとの関係強化

Webモバイルアプリ開発

(アプリ開発、システム開発、セキュリティ診断)

セキュリティ事業拡大、
新規技術の積極導入・開発を目指す

- 脆弱性診断によるセキュリティ需要の取込みで収益向上に貢献
- メタバース分野（xR技術）に進出、
新サービスの開発
- リバースエンジニアリングサービス※の
販売が好調

※ システム操作やソースコードの解読により開発ドキュメント（各種設計書）を作成するサービス

オフショア

(オフショアテスト、オフショア開発)

ロックダウン後の経済正常化に対応すべく
エンジニア積極増強で事業拡張

- 現地日系企業との取引拡大により
各四半期で安定した売上へ
- エンジニアの積極採用
- フリーランスのビジネスパートナーも
活用

労働環境向上のため 「環境」 「報酬」 「制度」 の充実へ

環境

- 東京本社移転（23年2月予定）
 - ホワイト企業認定（GOLD）
 - 自社ツール利用による業務効率化
 - 直請け構造のビジネスモデル
 - バルテスいいね！プロジェクト（「共に働き続けたい」と思えるイベント実施）
 - 社内バー（バルバー）の設置
- etc…

報酬

- インフレ特別手当
 - 譲渡制限付株式付与
 - 在宅勤務手当
 - 福利厚生サービス導入
- etc…

制度

- 研修制度（入社時、バルゼミ）
 - 男性育休取得の推奨（21年度は対象者の50%が取得）
 - 懇親会補助（オンライン可）
 - 産業保健師の採用
 - インストラクター制度
- etc…



東京本社新オフィス
住友不動産半蔵門駅前ビル
（東京メトロ半蔵門駅直結）

オープンスペース、
フリーアドレスで横断的な
コミュニケーションを
さらに活性化！



ホワイト企業認定が2020年のシルバー認定から
2022年はゴールド認定にランクアップ！



健康経営の取組みの一環として、
今期より産業保健師を常勤採用。
職場の健康支援へ！

	FY2022 2Q累計		FY2023 2Q累計			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	3,005	100.0	4,169	100.0	+1,163	+38.7
売上原価	2,317	77.1	2,964	71.1	+646	+27.9
労務費	1,549	51.5	1,685	40.4	+136	+8.8
外注費	642	21.4	1,165	28.0	+522	+81.3
その他	125	4.2	113	2.7	▲12	▲9.7
販管費	640	21.3	726	17.4	+85	+13.3
人件費	270	9.0	328	7.9	+58	+21.5
採用費	103	3.4	102	2.5	▲0	▲0.5
研究開発費	50	1.7	19	0.5	▲31	▲62.4
その他	216	7.2	275	6.6	+59	+27.4

(単位：百万円)

資産の部	FY2022	FY2023 2Q	対前期末
現金及び預金	1,356	1,180	▲176
売掛金+契約資産	911	1,026	+115
流動資産合計	2,345	2,322	▲23
有形固定資産	89	83	▲5
のれん	64	360	+296
ソフト+ソフト仮	133	120	▲13
無形固定資産合計	197	480	+283
投資その他の資産	298	501	+203
固定資産合計	585	1,065	+480
資産合計	2,930	3,388	+457

(単位：百万円)

負債の部	FY2022	FY2023 2Q	対前期末
買掛金	175	259	+83
短期有利子負債	141	136	▲5
未払金	387	395	+8
流動負債合計	1,159	1,278	+118
長期有利子負債	54	43	▲10
固定負債合計	58	45	▲13
負債合計	1,217	1,323	+105
純資産の部			
株主資本合計	1,713	2,065	+351
純資産合計	1,712	2,064	+351
負債純資産合計	2,930	3,388	+457

3. 業績見通し



過去最高売上、利益を更新見込み

	FY2022累計 実績		FY2023累計 前回予想（8/10）		FY2023累計 直近予想（11/14）			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	対FY2022 増減 (百万円)	対FY2022 (%)
売上高	6,707	100.0	8,506	100.0	8,847	100.0	+2,140	+31.9
営業利益	570	8.5	801	9.4	962	10.9	+392	+68.8
経常利益	580	8.6	810	9.5	972	11.0	+392	+67.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	413	6.2	543	6.4	647	7.3	+234	+56.6
1株当たり 当期純利益（円）	60.17		79.98		95.41			

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

過去最高売上を更新、成長投資積極化により利益は上期同程度見込み

	FY2023上期 実績		FY2023 下期 直近予想（11/14）			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	対上期 増減 (百万円)	対上期 (%)
売上高	4,169	100.0	4,678	100.0	+508	+12.2
営業利益	478	11.5	484	10.3	+5	+1.2
経常利益	483	11.6	488	10.5	+5	+1.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	310	7.5	337	7.2	+26	+8.4

成長加速のために
投資を積極化
(詳細次ページ)

下期の利益は上期
と同程度となる見
込み

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

持続的成長に向けて下期に積極投資

① 来期コア人材採用に向けた投資

- ・採用チームを上期の1.5倍規模に拡大
- ・コア人材採用のため上期比70百万円の採用コストを積増し
- ・一時的 人材紹介会社への紹介手数料を大幅引上げ
- ・採用広報チーム立上げ、採用広告拡大、採用HPの刷新
- ・ビジネスパートナー採用チームの人員拡充

② グループ拡大に向けた組織体制強化投資

- ・組織拡大に向けて、エンジニア以外の人材投資
- ・M&A、グループ拡大に適した組織体制強化施策へ投資
- ・プライム市場上場を見据えた諸制度強化施策へ投資

③ マーケティング強化

- ・T-DASH※及びPrime WAF※等サブスクリプション型自社開発ツールの拡販投資

④ 働きやすい環境整備

- ・東京本社移転等、従業員の労働環境向上と業務拡大対応のための環境整備投資

※ T-DASH及びPrime WAFのご紹介は45ページにございます

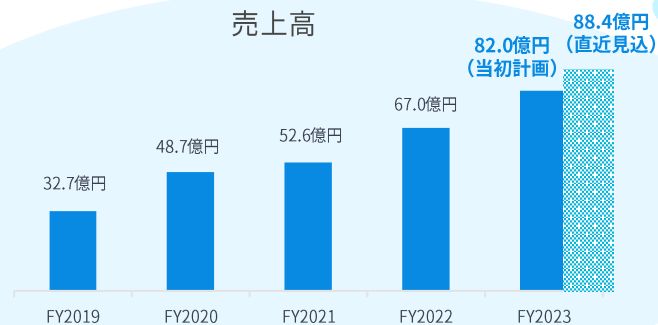
持続的成長
のための
積極投資

- ・来期目標売上高100億円の達成
- ・来期以降の持続的事業拡大
- ・プライム市場上場を見据えた体制構築

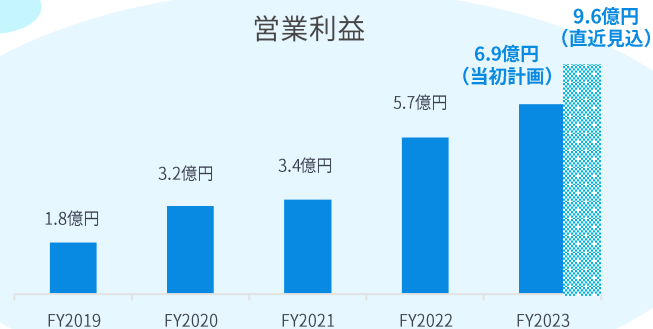


連結

売上高

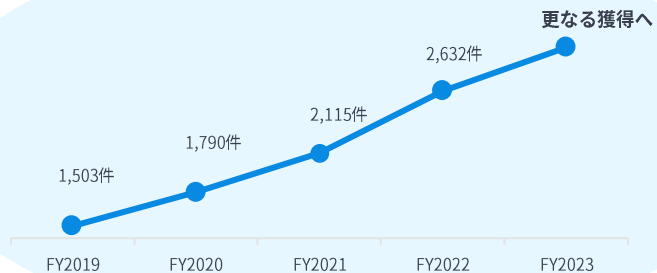


営業利益



ソフトウェアテスト

案件数



エンジニア1人当たり売上高の推移



4. 成長戦略



4つの基本戦略と投資コントロールで**規模成長**と**高利益率**を両立

① 人的資本への投資

- ・積極的、計画的な人材採用
- ・未経験人材の早期戦力化
- ・キャリア人材の高スキル化
- ・外部人材の有効活用

成長を持続

② エンタープライズ 領域拡大

- ・専門部署の設置
- ・ハイレイヤーの採用
- ・外部との協業
- ・ナレッジ蓄積

利益率向上、
参入障壁構築

③ 知的財産の拡大

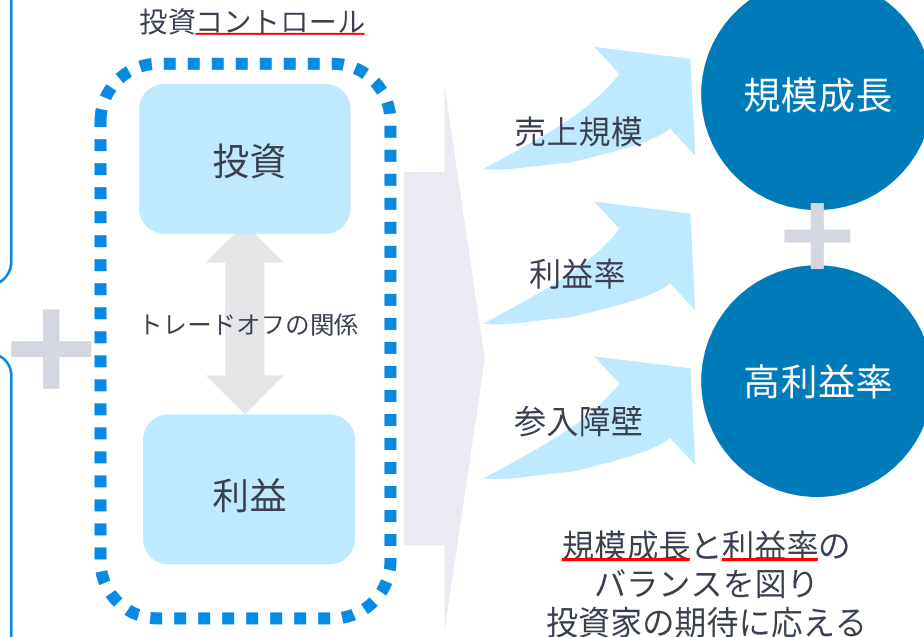
- ・テスト・教育ノウハウ蓄積
- ・ナレッジ蓄積
- ・新規技術の開発
- ・新技術企業への投資・協業

参入障壁構築、
新たな価値創造

④ M&Aと組織強化

- ・既存領域のM&A
- ・ポートフォリオの多様化
- ・M&A組織体制の最適化
- ・グループガバナンスの向上

売上、企業価値、
環境変化対応力向上

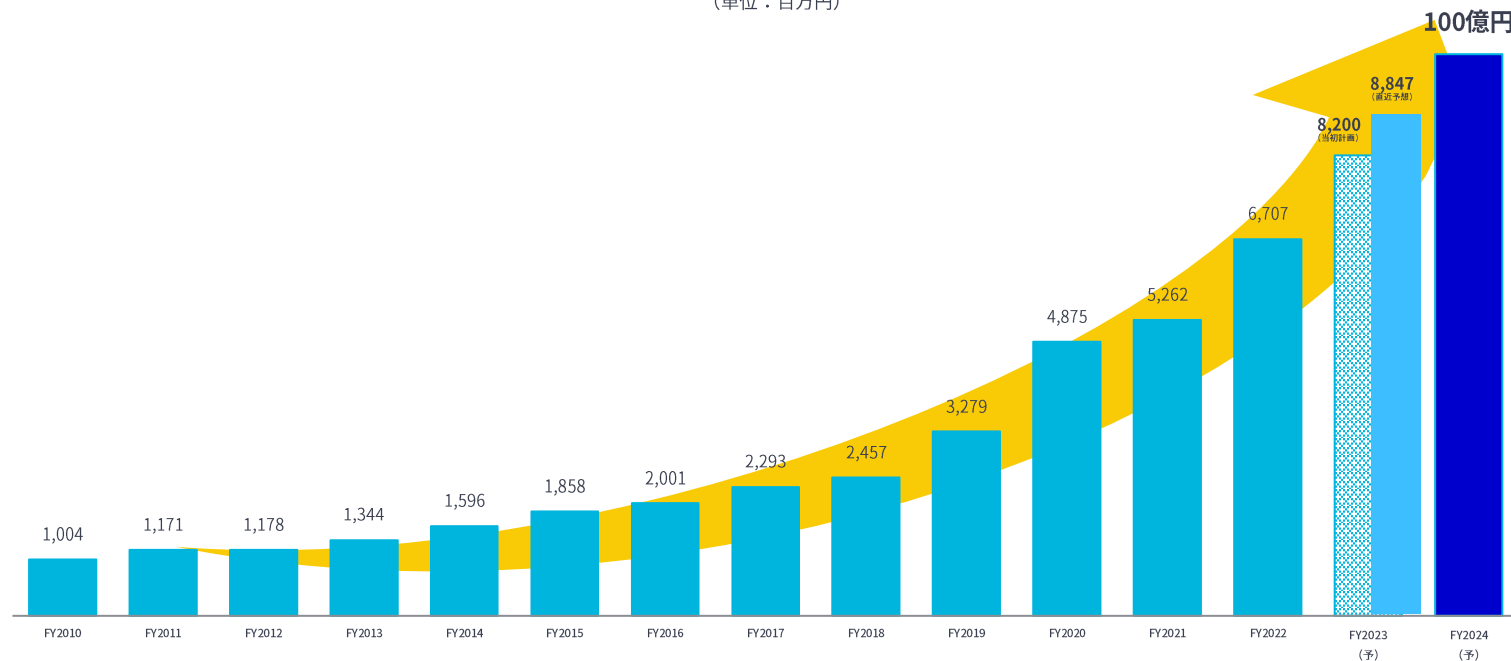


詳細につきましては、2022年6月28日に公表いたしました「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」を下記のURLよりご参照ください。
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4442/tdnet/2149176/00.pdf>

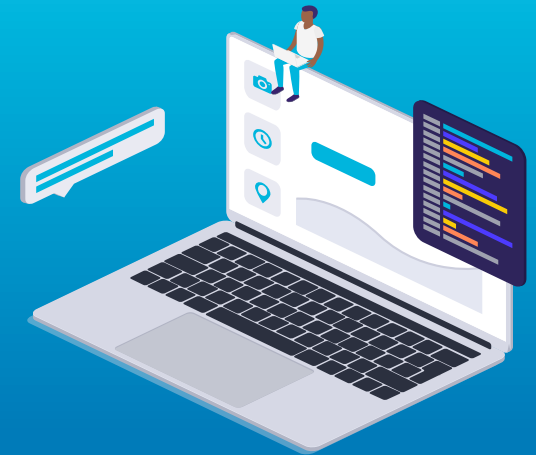
ソフトウェアテスト市場の成長から、FY2024に売上高**100億円**を目指す

売上高の推移

(単位：百万円)

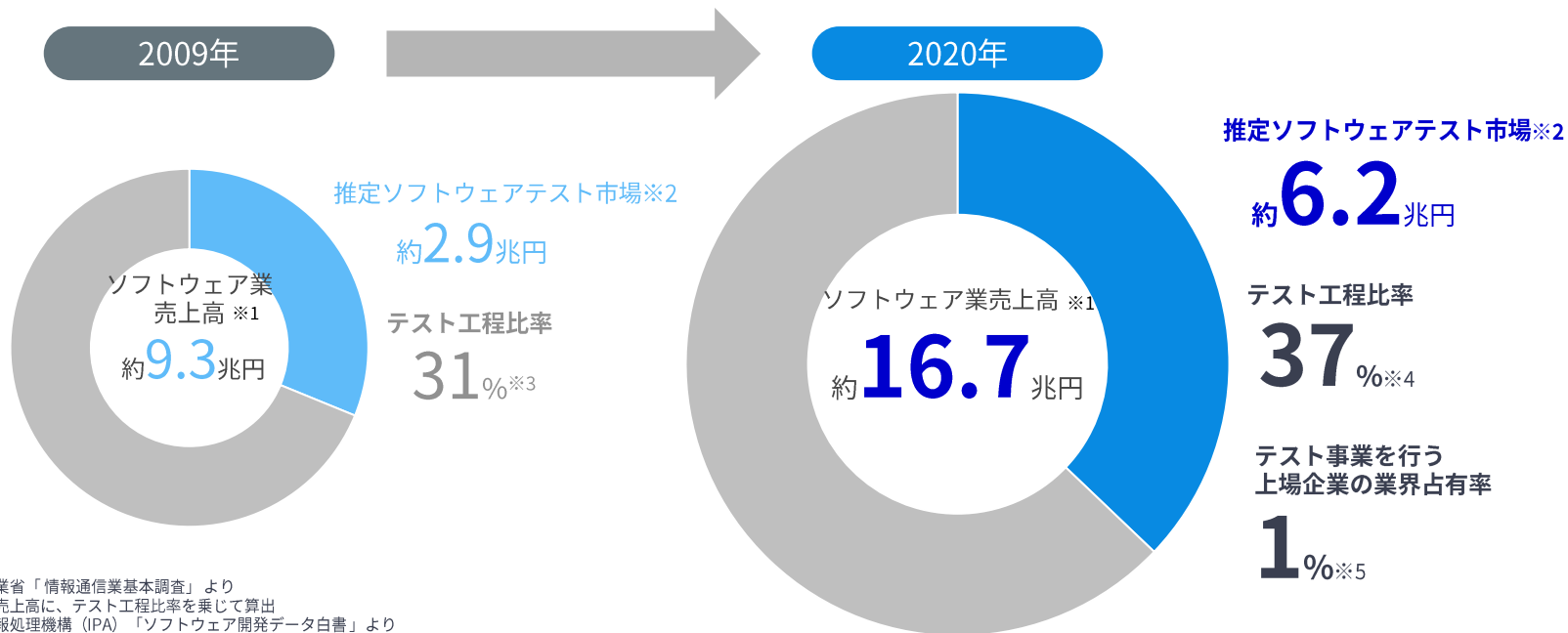


5. ソフトウェア事業環境



当社が推定する日本のソフトウェアテストの市場規模は**約6.2兆円**

ソフトウェア業売上高に占めるテスト工程比率の推移と市場規模推計



※1 総務省・経済産業省「情報通信業基本調査」より
※2 ソフトウェア業売上高に、テスト工程比率を乗じて算出
※3 独立行政法人情報処理機構 (IPA) 「ソフトウェア開発データ白書」より
※4 独立行政法人情報処理機構 (IPA) 「ソフトウェア開発分析データ集2020」より
※5 テスト・デバック事業をメインとする上場企業の売上合計より

ターゲット業界の高いCAGR、ソフトウェアテスト市場も**CAGR12.4%**

	市場規模		CAGR	出所	
エンタープライズIT	国内	2024年	12.8兆円	3.4%	IDC Japan 国内エンタープライズIT市場予測
AI	国内	2025年	4,910億円	25.5%	IDC Japan 国内AIシステム市場予測
メタバース	世界	2024年	7,833億ドル	13.1%	Bloomberg https://www.bloomberg.com/professional/blog/metaverse-may-be-800-billion-market-next-tech-platform/
Web/E コマース	世界	2024年	4.9兆ドル	20.7%	eMarketer, Dec2016 経済産業省「平成29年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備」(電子商取引に関する市場調査) 世界のBtoC電子商取引市場規模の推移
IoT	国内	2025年	10.2兆円	10.1%	IDC Japan 国内IoT市場 支出額予測
スマート自動車/自動運転	国内	2025年	1.9兆円	19.5%	矢野経済研究所 国内コネクテッドカー関連市場規模推移と予測

その他、国内外のソフトウェアテストが関係する業界の市場規模を合わせ、世界全体での可能性



<u>ソフトウェアテスト</u>	世界	2025年	344.9億ドル	12.4%	Technavio Software Testing Services Market by Product, Geography, and End-user - Forecast and Analysis 2021-2025
------------------	----	-------	----------	-------	---

「デジタル庁の創設」 「コロナ禍で進んだ社会の変化」 「サイバー攻撃の増加」

DXが加速、セキュリティ対策需要も増大

コロナ禍で進んだ社会の変化

- ・テレワークの定着
- ・EC消費の定着
- ・オンラインコミュニケーションの定着
- ・余暇時間の増加

デジタル庁の創設

- ・国/自治体のシステムの統一
- ・行政のオンライン化
- ・品質意識の向上
(コロナ禍での不具合続出)

サイバー攻撃の増加

- ・身代金目的のサイバー攻撃増加
- ・日本の大企業の多くがサイバーセキュリティ対策不十分

デジタルトランスフォーメーション (DX) 加速

2.セキュリティリスク増

セキュリティサービス
需要の増加

1.ソフトウェア開発

エンタープライズ領域の
ソフトウェアテスト
需要の増加

3.人材不足

人材不足を解消する
手立てがカギ

▶ テスト工程のアウトソースが加速 (ソフトウェア開発会社)

ソフトウェア開発企業の悩み

- コスト高な開発エンジニアの労働時間の約4割がテスト・検証に割かれる
- テスト工程は開発者のモチベーションが上がらず、非効率
- 開発者自身がテスト・検証を行うのは客観性が無く信頼性に欠ける

テスト工程がアウトソースされなかった理由

- 大手SIerが案件を一括受注し、傘下の下請け・孫請けに発注。その開発エンジニアがテスト工程まで行う構造であった。

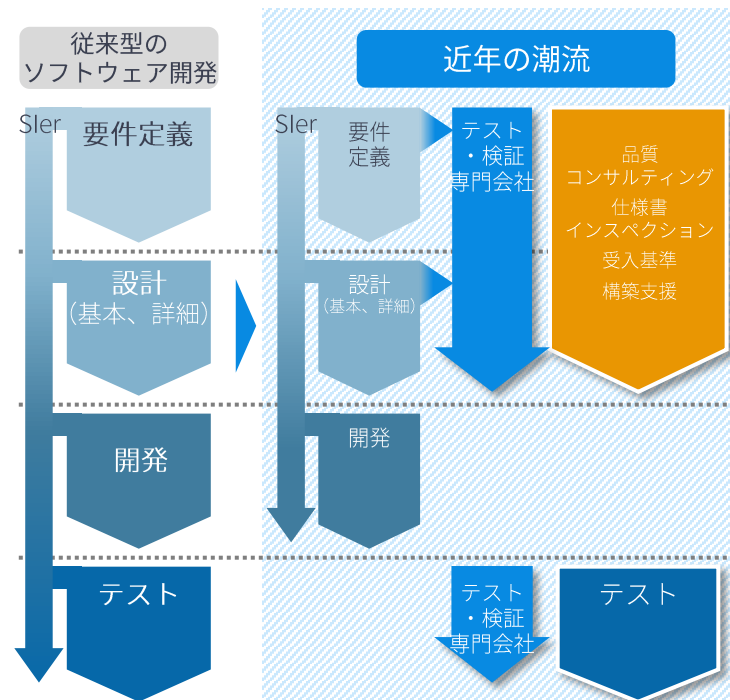


テスト工程のアウトソース化が加速!

- 開発担当者によるテスト時間の短縮により、開発コストが減少
(開発担当者がテストを実施する場合の※60%~70%程度で対応可) ※当社調べ
- 再現性・共有性の高いテストの方法論が確立 (各社独自のメソッド) することで網羅的で高効率なテストが実現可能に
- 第三者のテスト専門会社によるテスト・検証の有効性が注目

ソフトウェアテストは 開発企業からテスト専門企業へ

ソフトウェア開発の業務フローの変遷



ユーザー企業からの受入テストの増加

背景

- 各社がDX投資を推進（2018年に経済産業省が推進を提唱）
- 旧システムのマイグレーション、パッケージシステムの導入が増加。ユーザー企業から開発会社への発注増
- DX推進により、4年で約1.2兆円の市場規模拡大（ソフトウェア業売上高）



ユーザー企業の悩み

- プロジェクトの品質が心配（技術スキルでSlerと対峙できない）
- 発注しているSler・開発会社の手戻り工数が多い
- ユーザー企業の人員不足（受入テスト時に要員確保が出来ない）



品質管理の第三者機関として、バルテスがユーザー企業をサポート

当社の立ち位置と支援項目

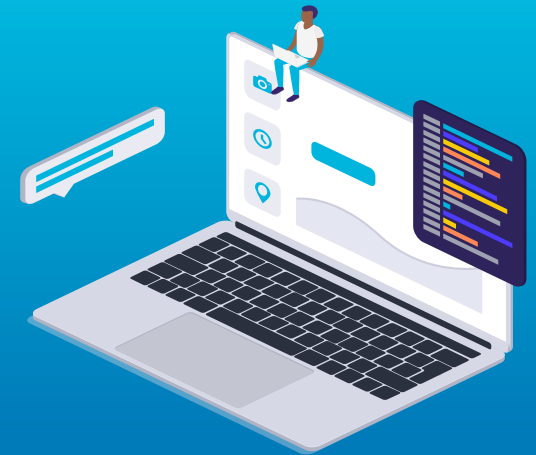


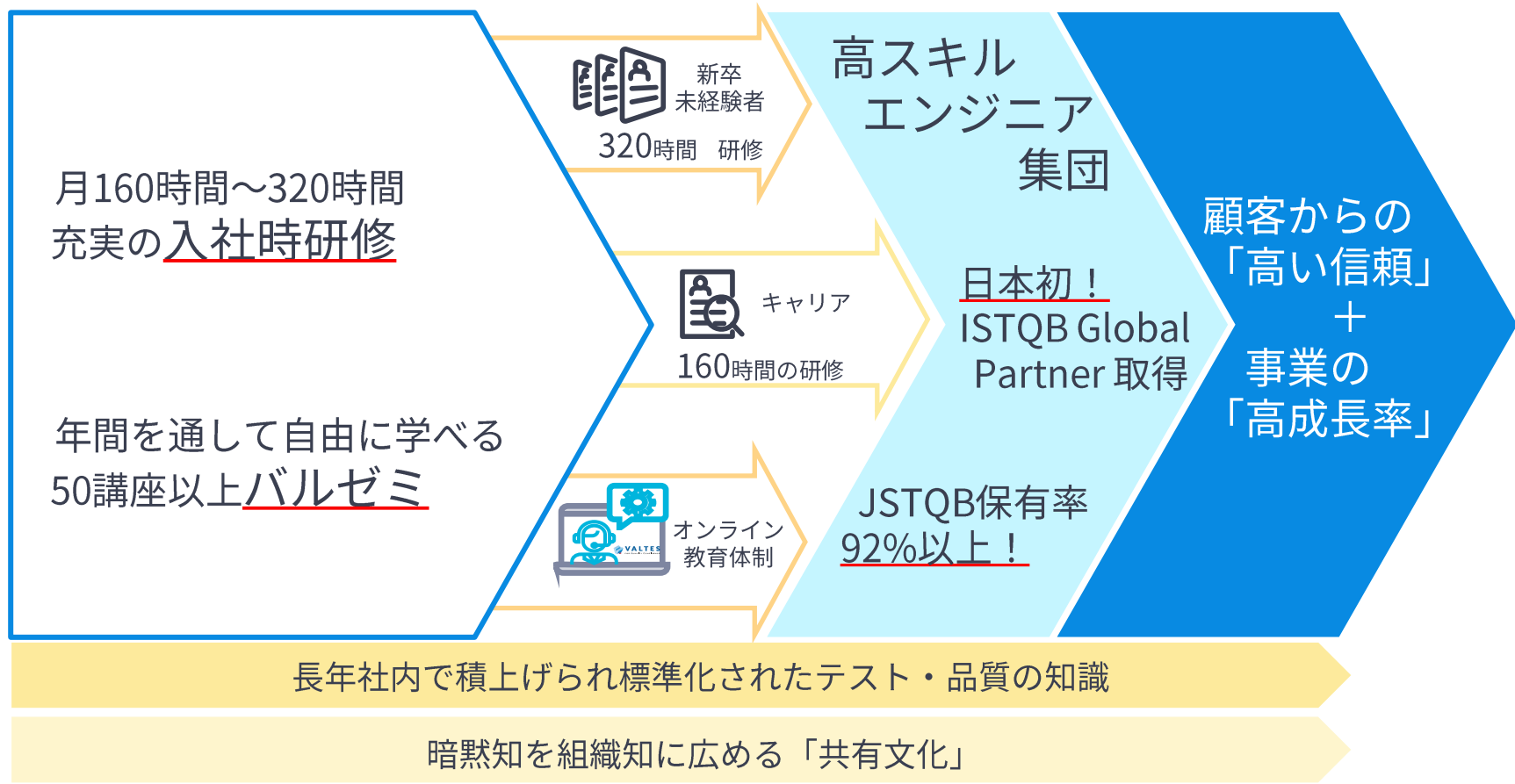
- 受入テストの上流工程支援
（次フェーズへの移行基準・リスクの洗い出し等）
- 総合テスト支援および品質管理提案
（Sler・開発会社への提案をユーザー企業と実施）

当社がQCD※を管理・支援
ユーザー企業からの依頼が増加中

※QCD：Quality(品質)・Cost(コスト)・Delivery(納期)の頭文字をとった用語

6. 当社の優位性





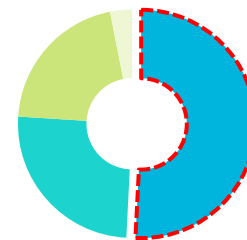
▶ 当社の優位性 エンタープライズ領域に特化した体制と専門性

エンタープライズ領域の特徴

- 単価 **高** 案件規模 **大** 契約期間 **長**
- 開発、業務知識等、テスト以外の知識を求められる → 難易度 **高**
- マイグレーション等※の増加で市場は **拡大**

※ソフトウェアやハードウェア、システム、データ、開発言語などを別のプラットフォームに移行したり、新しいシステムに切り替えたりすること

部署別売上高構成比 FY2022



エンタープライズ品質サービス事業部
50.8%

ソフトウェアテスト売上全体の
50%を占めるまでに成長

当社の優位性

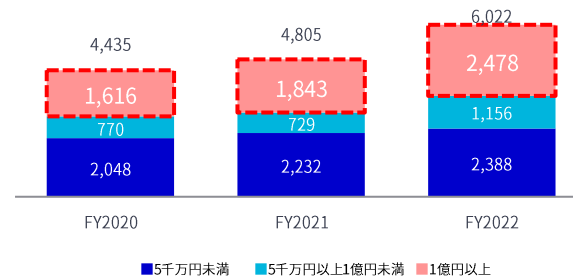
エンタープライズ専門部署を2020年4月に設立
組織体制の強化により 専門性が向上



- 専門部署による組織的対応 ・ 経験豊富な ハイレイヤーの採用
- 本領域に強い人材を供給可能な 外部協力会社との取引拡大
- 質、量ともに豊富な 当社のテストノウハウ
- 上流工程からの品質支援ニーズに対応



取引先あたり売上規模別の売上高推移
(ソフトウェアテスト) (単位: 百万円)



■ 5千万円未満 ■ 5千万円以上1億円未満 ■ 1億円以上

案件の大型化が進む

サイバー攻撃増加

- 企業へのアタック増加
- 企業の多くがサイバーセキュリティ対策不十分



個人情報取得



サイト改ざん



不正ログイン



セキュリティ・脆弱性診断サービス

脆弱性の可視化・治療

- ハッキング等の脆弱性を確認する
診断サービス+脆弱性向上のための対策アドバイス
- 直近3年CAGR 36.1%と順調に拡大



攻撃可視化・防御ツール「Prime WAF」

攻撃に対する防御

- 初期費用0円で導入可能なWAFを2022年3月1日ローンチ
- サイバー攻撃を可視化、その攻撃のみをブロック。
- 分かりやすいUIで、攻撃防御の「結果」が明確
- 低コスト、カンタン導入で中小企業も利用可能

サイバー攻撃に関し、点ではなく線で対策を行う
セキュリティサービスが提供可能に

7. 会社概要



「品質向上のトータルサポート企業」を経営方針に掲げ、事業を展開

会社名	バルテス株式会社
会社設立	2004年4月
上場	2019年5月 東証マザーズ (現 東証グロース 証券コード：4442)
本社住所	大阪市西区阿波座1-3-15 (大阪本社)
事業内容	ソフトウェアテストサービス 品質コンサルティングサービス ソフトウェア品質教育サービス セキュリティ・脆弱性診断サービス
子会社	バルテス・モバイルテクノロジー株式会社 株式会社アール・エス・アール 株式会社ミント VALTES Advanced Technology, Inc. (Philippines)
従業員数	756名 (2022年9月末 グループ5社計)
内、総エンジニア数	663名 (2022年9月末 グループ5社計)
総資産	3,388百万円 (2022年9月末 グループ5社連結)



代表取締役社長

田中 真史
Tanaka Shinji



私たちは品質にコミットし、安心・安全なICT社会の実現に貢献します。



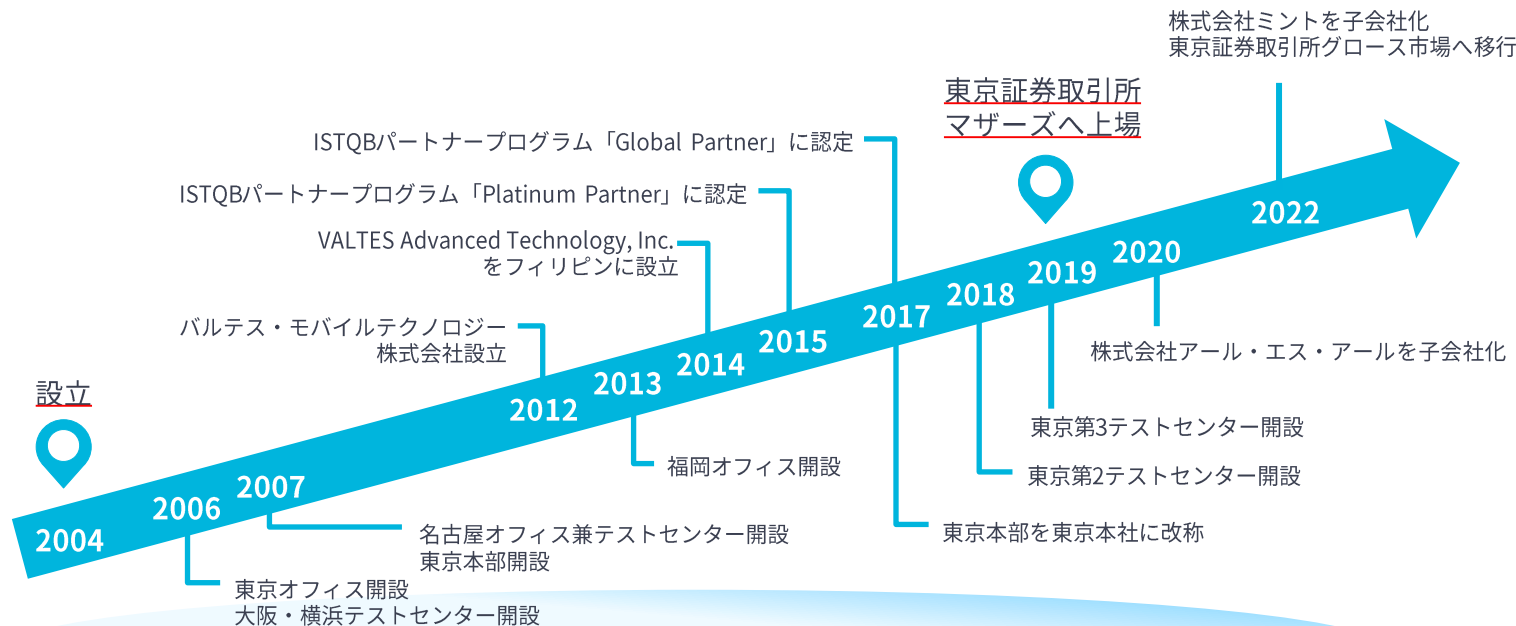
私たちはICT社会に貢献する人材を育成します。



私たちは多くの価値を創り、お客様と共に喜びを分かち合います。

2004年4月、設立。ソフトウェア品質に関わるサービスを提供。

ソフトウェアテスト専門会社として、**年間2,600件以上**のプロジェクト実績



高スキル エンジニア

- エンジニア適正試験
 - 独自の研修カリキュラムによる早期戦力化
 - JSTQB※1保有率 92%以上！（入社2年目以降の正社員）
 - ISTQB※2 Global Partner
- ※全世界10社のみ、日本初!



豊富な実績

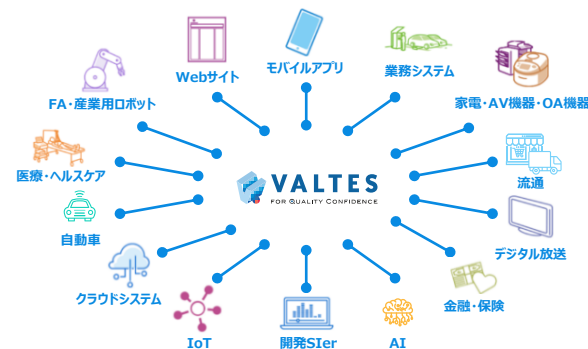
- 業種毎の豊富なテスト観点
- 年間2,600プロジェクト、1,000社以上の導入実績



日本で初のグローバルパートナー

標準化・ プロセス

- ISO/IEC/IEEE 29119※3準拠テンプレート
- QUINTEE※4（テストの進行基準）
- 標準化されたテスト設計手法による
抜け漏れ・誤認識を排除



※1：JSTQB(Japan Software Testing Qualifications Board)とは、国内のソフトウェアテスト技術者認定組織のこと

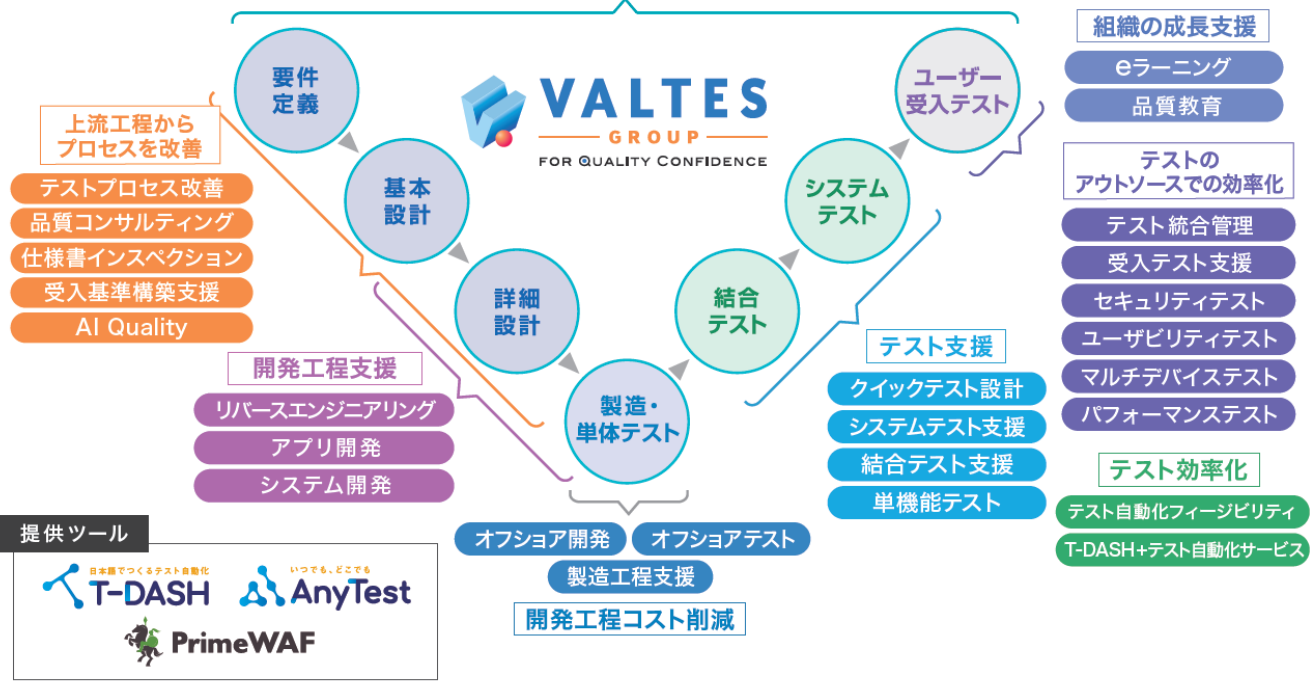
※2：ISTQB(International Software Testing Qualifications Board)とは、世界130カ国のテスト技術者認定組織のこと

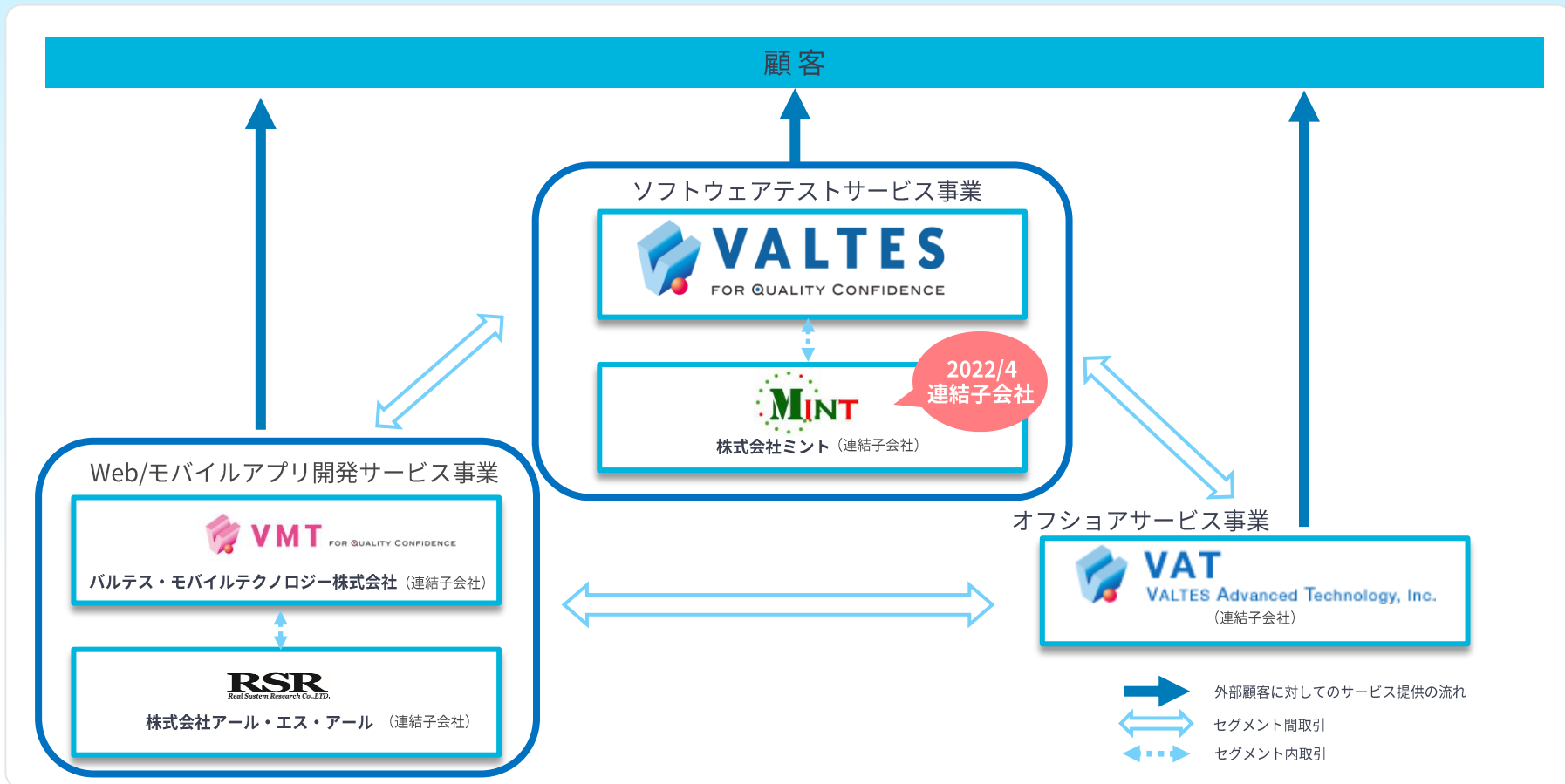
※3：ISO/IEC/IEEE 29119とは、ソフトウェアテストの統合的な国際規格のこと。ISO、IEC、IEEEという3つの標準化団体が合同で策定しているため、この名称で呼ばれる

※4：QUINTEEとは、当社がソフトウェアテストを主軸に、品質向上・生産性向上に関連する知見を体系化したもの

ソフトウェア開発の全工程で、ソフトウェア品質の向上支援サービスを提供


組織の問題解決 クイックサーベイ エンタープライズ品質向上サービス アジャイル開発テスト支援
 PMO支援 品質管理支援 Quality Assurance組織支援





当社サービス一覧

1 テスト情報プラットフォーム「Qbook」
ソフトウェア品質向上のためのプラットフォーム。バルテスが培ってきたテスト・品質向上ノウハウを提供




2 テスト自動化ソフトウェア「T-DASH」
非エンジニアでも“カンタン”にWebアプリケーションの動作確認・検証を可能にするテスト自動化ツール



3 従量制のクラウド型WAF「PrimeWAF」
簡単・低価格で導入可能なクラウド型のWAFサービス。様々なサイバー攻撃からWebサイトを防御




4 いつでもどこでも実機テスト「AnyTest」
クラウド上で実機を遠隔操作。豊富な機種・OSのラインナップ。リモートなのにラグのない操作感



2022/8 リリース

出資法人一覧

1 株式会社カラーアンドデコ
3D・VRを利用したインテリア空間デザインサービスを提供



2 I Check 株式会社
PCR検査キット事業や健康プラットフォーム事業を提供

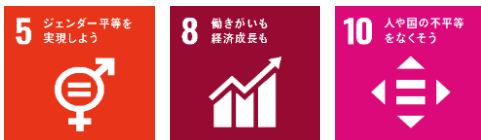


3 株式会社FUNDINNO
国内最大級の株式投資型クラウドファンディングサービスのプラットフォームを展開



2022/4 出資

働きやすい環境の整備



- ・男性育休制度導入
- ・働き方改革
- ・ホワイト企業認定 ゴールドランク取得
- ・産業保健師制度導入
- ・必要に応じて、抗原検査キットやPCR検査を従業員に無償提供
- ・パートナーシップ制度の導入
- ・社外監査役として女性役員の就任

【社員インタビュー】男性社員の育休取得実績



▲育休実績のある男性社員のインタビュー記事を、社内でも積極的に展開し、取得を推奨



▲オンライン懇親会制度などを設けて在宅勤務社員のフォローも実施

IT人材の創出



- ・充実した社内研修システム
- ・当社のソフトウェアテストノウハウを生かした資格支援サービスの提供
- ・ソフトウェアテストに関する技術書籍の出版
- ・ソフトウェア品質向上プラットフォーム「Qbook」の運営
- ・テスト技術をゼロから学べる無料eラーニングコンテンツの公開



▲未経験者は2カ月、経験者でも1カ月の入社時研修を実施

技術革新の拡大を図る



- ・京都工芸繊維大学との共同研究論文を発表
- ・ソフトウェア製品の品質確保のために世界中の企業とパートナーを組むことで目標達成を実現

安心・安全なまちづくり



- ・ソフトウェア製品のテストを実施し品質を確保することで、安心・安全なICT社会を実現

ご留意事項

本資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
これらの将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに
当社が計画・予想したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想などとは異なる場合があります、
この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。
なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。



